令和４年９月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和４年８月１９日（金）
２．開 催 日 時　令和４年９月１４日（水）　１３時３０分～１６時２０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　１５人（Web 会議システムによる出席１５人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、伊藤 雄平、宗村 進之介、上島　健、秋山 正稔、原田 政吾、田村 大輔、富居 博治、横山 聡洋、平井 英次、藤田 亮則

９．出席監事の氏名

川崎 一郎、秦　研二

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　創立５０周年記念事業について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、７月２０日の実行委員会及びそれ以降に開催された各小委員会の進捗状況について報告があった。

・実行委員会：フル開催で検討とアンケートの実施。
・表彰小委員会：８月５日開催。外部表彰の東京都及び東京都中小企業団体中央会は、交付決定し、賞状用紙を預かり、筆耕の手配を行う予定。関東経済産業局は交付の回答待ち、決定後同様の手配。内部表彰の理事長表彰及び感謝状については、筆耕の手配を行い、委員、優良従業員、講師、組合員及び賛助会員の版下を印刷中。式典パンフレット及び記念誌の受賞者一覧の記載方法の検討。式典での表彰式のサポートの検討。
・記念誌・記念品小委員会：８月２９日開催。記念誌の表紙の決定。掲載写真の確認。祝辞の寄稿依頼：関東経済産業局、東京都、東京都中小企業団体中央会、日本金属熱処理工業会（両副会長）。

記念品：来賓・組合員・賛助会員→ニッパー型爪切り（SUWADA）→今月納品予定、表彰者・当日参加者→小容量カレーセット（帝国ホテル）→　外熨斗から内熨斗に変更→創立五十周年記念、ノベルティ→フェアトレードコットントートバッグ→見本を確認→発注。式典当日欠席者には、後日送付。カレーセットについては、帝国ホテルから送付。来賓には、帝国ホテルの焼菓子を用意。

・式典・講演小委員会：分離開催の検討。「光の間」で式典及び記念講演会を行う。祝賀会は、令和５年１月２６日（木）新年賀詞交歓会と共催予定。記念講演会の講師：津田雄一先生とテーマについて確認し、当日のスケジュール等を事務局から連絡をする。イベント：弦楽四重奏については、祝賀会に延期することになる。

嶋崎議長から、前段の正副理事長会で弦楽四重奏について玉木副理事長から式典での演奏の提案があったことの報告があり、玉木副理事長から受賞者及び当日の参加者に良い印象を与えたいと思い、生演奏の提案を行ったことと１月の祝賀会については、別のイベントも考えたいと説明があった。

嶋崎議長から、分離開催について承認を得たいと考えている。キャンセル料のこともあり、玉木副理事長が祝賀会を延期することで帝国ホテル側と交渉を行った。帝国ホテル側からお弁当手配の提案があり、参加者に用意することになったことの説明があった。

安室専務理事から、祝賀会を延期し、式典及び記念講演会のみの開催となるため、４０周年時と同様に会費をいただかないことの報告があり、嶋崎議長から、組合の負担で考えたいと説明があった。

田村理事から、お弁当の持ち歩き時間について質問があり、玉木副理事長からお弁当を渡す時間については検討中で実行委員の方については、先に食べていただくことも小委員会で検討したい。来賓については、講演会が終わってからお渡しするのが通例だと考えている。

嶋崎議長から、有志の方で反省会も検討する方向で考えている。玉木副理事長からも検討したいと説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　新年賀詞交歓会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、令和５年１月２６日（木）に帝国ホテルで創立５０周年の祝賀会も兼ねて開催を予定したいことと理事会及び講演会については、正副理事長で検討したいことの報告があった。

嶋崎議長から、今回は組合単独開催となるので、内容は今後検討して行きたいことの説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　外国人技能実習制度：試行試験について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、３回の専門家会議を経て、最後の試行試験の準備を行っていることの説明があった。

・役割分担で受検者２７名、首席試験監督者２名、補佐員４名及び事務局については、東部が担当。中部、西部で試験監督者と事務局を担当する。

・派遣について協力依頼を行った結果、１５社から３３名、首席試験監督者及び補佐員９名の派遣の申し出があった。

・試行試験の日程決定後に再度調整を行うことになる。

嶋崎議長から、受検者については実務経験の浅い方となっており、派遣の申し出をいただいたことに謝辞が述べられた。

嶋崎議長から、業界の進む方向として行う事業と理解して欲しいと説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、８月２４日に開催された令和４年度第２回青年部会について、議事録に基づき説明があった。

・熱処理業界のPRとして、東京都中小企業団体中央会主催の「組合まつり」に出展を考える。ここ２年間コロナの影響で参加できなかった。
・６月に正副部会長で島根県の「和鋼博物館」を訪問し、熱処理業界PRの想いを伝え、協力の了解を得た。
・「日本刀」をテーマにして、若年層に金属熱処理をPRする。

田村理事（部会長）から、目標となっている熱処理業界のPRに挑戦して見たいことの説明があった。

・「日本刀」（レプリカ）の展示が出来るのかを中央会に確認中。
・「和鋼博物館」と安来市に展示物の借用について相談を行う。→１０月後半予定。
・概算の予算については、２３万円+α。→大型モニター、パイプ椅子等のレンタ費用、安来市への渡航費等。
　→　組合としての出展となるので、予算を付けていただけるならお願いしたい。

嶋崎議長から、２年前に出展について進めて行きたいと述べたが、コロナがあり、停滞してしまった。期の途中での予算の付加になるので、正副理事長会で検討し、３０万円の付加を行いたいことと今後の予算の決め方については、各委員会及び部会で要望事項を担当副理事長に上申し、正副理事長会で検討し理事会で審議して総会に臨むようにしたいと説明があった。

伊藤理事から、組合まつりへの参加はオンラインではだめなのかと質問があり、田村理事（部会長）からオンラインでの参加の要領を得ていないので、今回はリアル参加を考えていると回答があった。

嶋崎議長から、準備期間も短いことからリアル参加として、オンラインについては情報収集を行って欲しいと説明があった。

伊藤理事から、若年層にPRするならば、オンラインの方が良いのではないかと意見があり、田村理事（部会長）から、２０１９年に視察した時に小さな子供連れの来場者を多く見かけたことから、「日本刀」（レプリカ）でのPRを検討したいと説明があった。

嶋崎議長から、中高生や大学生など若年層に何らかのPRをして来場してもらうことも大事だし、オンラインも参画はし易いと思うが、今後業界全体として若年層にPRする手段として検討し、努力して行かないといけないと述べられた。

嶋崎議長は、組合まつりへの参加と３０万円の予算の付加について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、８月２３日開催の今年度第１回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①連携事業継続力強化計画の変更申請（参加企業１０社から２１社）の認可及び更新申請について、②新メンバ

ーの BCP 策定の進捗状況について、③緊急時の連絡網について（ラインワークスを活用したメンバーの緊急連絡網の構築について）

玉木副理事長から、２４エリアに分けてサポート体制を構築するための活動を２年間行い、被災された企業の被害状況や安否確認及びサポートについてマニュアルを作成して来たが、実際に連絡を取る手段や担当者の確認など初歩的なところが抜けていたことの説明があった。そこで、メンバー２１社で SNS（ラインワークス）を活用して２４時間連絡が取れる体制を構築し、２４エリアへ拡大し、連絡網の整備を考えていると説明があった。新メンバーの BCP の策定支援についても並行して行うが、方法を検討したいこととサイバーセキュリティ対策も取組みたいと説明があった。

続いて安室専務理事から、９月２日開催の第２回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①SDGs のアンケート結果について（SDGs については、組合から組合員に情報提提供を行う方向で進めて行く）、②創立５０周年事業について、③組合 HP（組合員及び賛助会員情報の未入力に対する対応）について、④外国人技能実習制度について。

続いて９月７日に開催された技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①事業報告及び計画について（７月１６日、１７日開催の技能検定試験受験対策講習会の報告、ISO 内部監査員養成研修会について→１１月にハイブリッド開催、ガス燃焼技術基礎研修会→東京ガス㈱と参加費用について再交渉中、品質活動発表会→メーカー監査について取り上げる方向で検討中）、②東京都の金属熱処理技能検定試験報告。

嶋崎議長から、ガス燃焼技術基礎研修会について東京ガス㈱と参加費用の減額の交渉を進めるように指示があった。

横山理事（技術委員長）から、技能検定講習会について仁平先生にご負担を掛けたことの報告があり、講師の育成が課題となっているので、協力要請があった。

嶋崎議長から、自前での講師育成は大事で、応募している「ものづくり日本大賞」でも大変評価を受けている点でもあるので、再度協力要請があった。

藤田理事（品質委員長）から、ISO 内部監査員養成研修会については、募集をして進めて行きたいことと品質活動発表会については、監査の模擬を行い、議論したりして基準になるものに出来ればと考えているので、組合員企業の皆様に協力をお願いしたいと説明があった。

嶋崎議長から、有益な形に繋がると思うので、進めて欲しいと述べられた。

安室専務理事から、技術・品質合同委員会終了後に開催した東京都立産業技術センターとの業種別交流会について報告があった。

嶋崎議長から、コロナ以前は施設の見学や懇親の場を設けて情報交換を行っていたことの報告があり、今後とも交流を続けて行きたいと述べられた。

続いて安室専務理事から９月９日開催のマーケティング委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①価格サポートセミナーのテーマ（講師候補について）、②加工価格調査・運送費調査（概略結果の報告）、③市場動向に関する情報交換。

玉木副理事長から、委員会にて価格交渉の際のお願い文書（昨年１１月、（一社）日本金属熱処理工業会会長名で発出）について再度発出要望があったことの報告があった。今年の２月にも要望があったが、その際は時期尚早ということで８月まで様子を見ることになっていたことの説明があった。１２日開催の（一社）日本金属熱処理工業会のマーケティング委員会で議題として取り上げ、賛同を得られたので、工業会の理事会に上程するこ

とになったことの報告があり、スピード感を持って進めて行きたいと説明があった。
嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和４年５月～８月の組合員及び賛助会員の異動について報告があった。

続いて１１月１０日、１１日開催の第４１回日熱会について案内があった。

嶋崎議長から、東京工業大学の製造中核人材「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」の第７期カリキュラムが終了し、１０月１５日（土）に修了証書授与式が行われることの報告があり、来年４月から第８期が開催される予定なので、受講生の派遣について協力要請があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了した。曽根副理事長より閉会を告げ散会した。

令和４年９月１４日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　原田 政吾　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　富居 博治　㊞

出席理事　横山 聡洋　㊞

〃　　平井 英次　　㊞

〃　　藤田 亮則　　㊞

出席監事　　川崎 一郎　　㊞

〃　　秦　 研二　　㊞